

平成 30 年 度 事 業 計 画 書
平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで
公益財団法人 みんなの夢をかなえる会

1. 事業運営の方針

わが国の経済活性化を考えたとき、その解決すべき課題として、若者が活力を持てる環境を作ること、起業家などの挑戦者がさまざまな事業機会において挑戦ができる環境を作ることが重要であると考えます。また、全ての女性が子育てやワークライフバランスを通じて、自分の夢を追い、社会の中で活躍することができる環境を積極的に作っていくことも、社会の発展には必要不可欠である。さらに、このような挑戦が、少子化、高齢化、まちづくり、地域活性化、途上国支援などの何らかの社会の課題を解決することにつながれば、「経済活性化」と「現代社会における様々な課題の解決」が両立した持続可能な社会を作り出せると考える。

そこで「これからの社会、これからの人々を応援する」ために、みんなが夢を持ち、社会の課題を解決することにチャレンジできる社会を作ること事業方針とする。当財団のソーシャルミッションは、『あなたの夢がみんなの夢に…そんなソーシャルドリームを仕事に、起業を目指す人々を応援しています。ソーシャルドリーマーの発掘、育成、発表、支援など、トータルサポートして活動する。

2. 事業の目的

①若者が活力を持てる環境を作る - 若者の「夢」を通じたキャリア・職業観の育成

現在、大学生の就職活動の状況をみると、大きく 2つの傾向があると考えられる。ひとつは、学生時代から自分自身の夢や目標を持ち、活動を通じて、自分を成長させることで就職がうまくいく学生。もうひとつは、社会に無関心であり、自分自身の夢を設定することが難しく、就職活動の時期を受け身で迎えてしまい、就職活動がうまくいかない学生。後者のような若者が増加しているという認識がある。このような要因として、若者が夢や希望、絆が薄くなり、また、そのような「きっかけ」を社会として提供できていないのではないかと。また、小学生の子どもは、夢と仕事はつながっているが、子どもから青年期を経て、成人に成長していく過程において、夢と仕事が切り離されていく現状を強く感じる。そこで高校生や大学生が、夢と仕事を結び付けて、夢をもって働くための機会を提供する。

②挑戦者がさまざまな事業環境において挑戦できる環境を作る - 社会起業家等の育成

今後、わが国の経済を活性化しようとする場合は、起業家やイノベーター・ソーシャルビジネス等の育成と支援が重要であると考えます。新しいチャレンジが新しい事業機会となり、ビジネスとなり、そして社会にイノベーションを起こし、マクロ的にも大きな成長機会となる。

多くの起業家たちは、これまで自分の「夢」と目の前にある「問題」を結び付けてチャレンジをしてきた。特に、少子化、高齢化、地域活性化、貧困問題など、現代社会における様々な社会の課題を解決するような「夢」とそのチャレンジをする社会起業家を育成し、応援することで、「経済活性化」と「社会の課題解決」を両立させ、持続可能な社会を作り出すことができる。

③全ての女性が自分の夢を追い、活躍する環境を作る（子育て、ワークライフバランス、シングルマザー、貧困へのケア）

現在、多くの女性起業家が誕生している。もちろん、起業家だけではなく、全ての女性が自分の夢を追い、社会で活躍することができる環境作り、またそのための教育機会の提供を行っていくことは、果たしていかなければならない社会的責務であると考えます。ムハメド・ユヌス博士もグラミン銀行の活動を通じた女性の自立支援を通じて、バングラディッシュの貧困問題に取り組んだ。例えば、働く女性の子育て支援は、保育所や学童での待機児童問題等で、政策的にも早急に対応をしていかなければならない課題である。また、子どもの貧困問題も、わが国は先進国の中では高い貧困率となっており、そのケアも考えていく必要がある。このような社会の課題に挑戦する起業家を支援していくとともに、全ての女性が夢をかなえることができる社会を創ることがわが国の持続可能性を生み出していくと考えられる。

④地域起業人(地方、地域おこし協力隊等への普及・人材開発支援、地域プロジェクト(ローカルプロジェクト)プロデュース支援。

現在、全国の自治体で地方創生(まち・ひと・しごと創生)の取り組みが進められている。地域の課題解決力を高めていくためには、こうした課題解決に取り組む人材の養成が急務である。本財団の支援・能力開発事業を通じて、各地で地方創生を担う人材の養成を通じて、各地の地方創生事業の推進を支援していく。具体的には、地域おこし協力隊の隊員の能力開発と地域のニーズとのマッチング、ふるさとワーキングホリデーの普及・啓発への協力を行う。また、各地の地方創生事業の一環として行われる地域プロジェクト(ローカルプロジェクト)を推進していくため、地域プロジェクトの立案(計画)、実施等を支援するために、そのプロジェクトメンバーの能力開発のためのプログラムを提供するとともに、ハンズオン型の支援を行う。

これらの事業について、国や自治体等の委託事業を受託することも検討する。

⑤中小企業向け経営者の育成について

我が国は中小企業が大半を占め、世界に挑戦する中小企業も多数存在する。また長引く不況の影響を受け目先の事業に注力するあまり、将来ビジョンが見いだせないでいる中小企業者も多数存在する。中小企業経営者にとって今必要なのは持続可能な事業にする上でのマネジメントや売上の源泉となるマーケティングを学ぶ事にある。

当団体の代表理事である渡邊美樹は、ベンチャー経営者として起業し、国内屈指の外食産業、サービス事業として展開してきました。この経営ノウハウやサービスなど、中小企業経営者向けに開催し、この経営塾では、事業成功の秘訣「ミッション」「ビジョン」「戦略」を学び、受講者の事業計画、中期経営計画を策定し、中小企業経営者が夢あふれ事業に取り組むようにしていきたい。さらに、中小企業も社会課題を本業に事業化するCSVを提唱していく。社会課題先進国の日本にとって、これか解決するのはビジネスを中心で実行するものであり、ビジネスチャンスがあることを伝え、中小企業の社会的存在意義を高めていきたい。

3. 事業内容

I 普及啓発事業(公益事業1)

(1) みんなの夢AWARD9の開催

「みんなの夢 AWARD」は、社会の課題を解決し、みんなをワクワクさせ、みんなが夢をもちたくなるすてきな夢に贈られるアワードであり、みんなの夢 AWARD のプレゼンターはサポート企業からのサポートを得ることができる仕組みとなっている。このような仕組みで、社会の課題を解決する事業に挑戦する社会起業家等を応援することを目的とする。

■「みんなの夢AWARD」の選考基準

- ・共感 : みんなをワクワクさせるものか
- ・社会性 : 世の中をよくする内容か
- ・具体性・計画性 : 夢を具体的に描き、計画的に前進しているか。「あなたの夢がみんなの夢になる」そんなソーシャルな夢を応援します。

選考は、各団体の推薦による選考と一般募集による選考により、ファイナリストを決定する。

■開催について

- ・開催予定日 : 平成 31 年 2 月 25 日(月)
- ・開催場所 : 舞浜インフィニシアター
- ・エントリー予定者 : 550 名予定(前回 525 名)
- ・サポート企業 : 41 社を予定(前回 41 社)
- ・集客 : 2200 名(無料) 会員による参加

■プログラムについて

- ・みんなの夢AWARD9各選考会
- ・個別プロジェクトAWARDの実施

- みんなの夢AWARD9ファイナリストセミナー)
- みんなの夢カウンセリング (エントリー者)

■賞について

みんなの夢となる『みんなの夢AWARDグランプリ』

最終選考会では、全ファイナリストの発表後にオーディエンスと審査員の投票によりトップ、「みんなの夢 AWARD9」グランプリを決定する。(なお準グランプリも決定する)

夢支度金として、100万円の贈呈(なお準グランプリは10万円の贈呈)

なお、共催の一般社団法人ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズから、最大2,000万円の出資がある(両者協議のうえ詳細を決定する)。

この他、各サポート企業から賞品の提供も予定している。

また、「みんなの夢 AWARD」グランプリ以外の各ファイナリストにも、40社以上のサポート企業からの支援・応援が得られる機会を提供する。各ファイナリストのプレゼンテーション後、その内容に賛同するサポート企業は、「夢への支援」を示す応援プラカードを提示し、様々な支援(支援金、権利、商品の提供など)を行うことができる。

■みんなの夢コーディネーター制度(夢の実現のための支援事業)

サポート企業とファイナリストとの支援を円滑に進める為、当団体が仲介し、コーディネートをする。

■みんなの夢メンター制度(夢の実現のための支援事業)

当法人は、みんなの夢アワード終了後、ファイナリストの夢が実現するための支援も行う。定期的にファイナリストと連絡を取り、サポート企業とのコーディネートやファイナリストへのアドバイス等を行い、夢の実現に向けてファイナリストに伴走する。

■起業に向けた個別コンサルタント業務

みんなの夢AWARDのファイナリストが起業するなど、その後年間を通じて、個別で経営コンサルタント業務を行う。

■参加者について

みんなの夢AWARDは、ファイナリストだけのものではなく、イベント会場に足を運んだ観客も、ファイナリストの夢を語る熱い心に触れ、また、夢が実現に近づいてゆく状況を見ながら、改めて自分の夢や目標を見直し、チャレンジすることの大切さに気付いてほしいと願っている。

また、みんなの夢アワードでは、企業と学生との間のミスマッチ等は両者の理解不足からだと考え、このようなミスマッチを防ぐため、企業と学生の交流の場を設ける。就職活動とは異なる場で、学生には企業の本質(CSR・CSVや企業文化)や、活動内容を理解してもらい、企業には現代の若者が何を考え、仕事にどのような目的ややりがいを求めているのかを理解を得る機会としたい。さらに、地方創生にも目も向け、地域おこし協力隊など仕事や定住を目的としたブース企画も実施します。

(2) シングルマザーパワードリームイベント

～無限の可能性をいまここに！～輝けママ未来のために

- 開催日程：10月27日(出)
- 開催場所：みなとみらい(横浜)イオンシネマ(予定)
- 内容 シングルマザーのみなさんのビジネスコンテスト。社会課題に直面する「ソーシャルアイデア」を発表。少額投資でソーシャルビジネスの起業をススメ
- 賞：5名のマイクロファイナンスを出資(50万円～100万円)
うち、ソーシャルマネジメントカレッジ受講(起業する)
- エントリー目標：100名

(3) みんなの夢AWARD地方版

私たちは、地方創生の成功の鍵は、「地域新規事業」と「事業承継事業」と考えています。そしてこの事業を運営する方々、つまりこの地域をこよなく愛し夢見るソーシャルドリーマーの存在が重要と考えます。

この思いを事業や商売、仕事として成功するには、「学び」です。もちろん、事業の発想や思いつきも大切ですが、事業の原理原則「ミッション」「ビジョン」「戦略」を策定する事が最も重要ではないかと考えています。私たちは、ソーシャルマネジメントカレッジにて地域起業家（地域おこし協力隊等）の育成プログラムがある。そして、地域起業家の夢を事業や仕事として成功するには、地元の方々の理解や応援が必要です。そのためには、みんなが集まる「場」が必要となります。

私どもは「夢（ビジョン）」をもっとも大事にしております。夢は語るから実現します。そして、その夢であるビジネスプラン（ビジネスモデル）を地元の方々から共感、賛同、協力を得て、初めて地方創生の事業が成功するのではないのでしょうか。

これら地域起業家が新規事業や事業承継を起業し開業するまでを、私たちは、総合プロデュースしていきます。地方創生ドリームプロジェクトとして、「当地域で、起業や新規事業（新商品開発）で夢をカタチにしたい方々の発掘、育成、発表、起業支援をトータルサポート」します。

- 発掘：各地域で起業を目指す、また既存事業者で、その地域の夢となる新規事業や新商品開発を目指す方たちの発掘をします。また、地元で愛されてきた店舗が、店舗を閉めるのではなく、誰かにこの事業を引き継いでほしい場合、その事業を引き継ぐ方を発掘していきます。
- 育成：ソーシャルマネジメントカレッジ in 自治体
夢を具体的に起業や新規事業等としてビジネスが成功する為の育成プログラム。受講者の中から、書類選考や面接選考をもとにファイナリストを選出、「みんなの夢AWARD in 自治体」に出場頂きます。
- 発表：みんなの夢AWARD in 自治体
発表者から、グランプリ（特別賞）を決定します。また各発表ごとに協賛企業（地元企業、市内で営業活動をしている上場企業など）が、応援したい夢を見つけ支援表明を行います。
- 支援：ソーシャルビジネスであれば出資・人的支援も検討、実施します。
プレゼンターの希望により、起業に向け、事業計画をブラッシュアップし、金融機関からの融資実現に向けても支援していきます。

(4) みんなの夢AWARD企業版の開催

～「社員の夢祭典 みんなの夢AWARD in 企業

社員が夢を語る会社に 社内夢AWARD～「社員の夢祭典 みんなの夢AWARD in 企業

社員の夢を仕事に 企業研修講座（企業の次の夢である新規事業等）について

- 1.夢に日付を入れ、自身の夢や目標を明確にする
- 2.自身のしたいことや得意なこと、好きな業務や分野を整理する
- 3.夢に日付を入れる（夢手帳の記入 5か年計画）
- 4.自社の理念および事業領域の確認と整理
- 5.マーケットを研究し整理する（ポーター、ドラッカー、コトラー）
- 6.新規事業戦略を受講生で立てる
- 7.新規事業案をまとめる

- 発表者：社員（例 若手社員から、各部署から）があらかじめ、企業研修に参加した方から数名を選出し、会社を通じて実現したい新規事業等（夢）を発表してもらう。
- 発表：発表者の中から、みんなの夢AWARD in 企業グランプリを決定する。グランプリについては、新規事業提案について、検討する。
- 観衆：全社員参加型とし、御社全体会議などでの開催をおすすめする。

(5) みんなの夢シンポジウムの開催 3 回

「みんなの夢」と「社会の課題解決・社会貢献」を考える「みんなの夢シンポジウム」を、全国で開催する。会場では、参加者と夢の大切さと、夢を実現していくための方法を共有し、社会の課題への気づきと新たな夢への挑戦者の発掘を行っていく。

- ・日程：2018 年5月～12月

- ・目的：渡邊美樹代表理事の夢の講話を聴いて、その地域の若者が「夢を持ち、夢を追い、夢をかなえる努力をする」にする。そして、みんなの夢 AWARD に向け、具体的な行動を起そうとする。

※CSV も意識する。結果として、みんなの夢 AWARD へエントリー、みんなの夢AWARDに発表、参加する

- ・場所：地域（全国）
- ・主催：公益財団法人みんなの夢をかなえる会（共催もあり）
- ・参加：200名から300名

(4) ソーシャル・フォーラムの開催（報告会）

「みんなの夢フォーラム」と題して、法人サポーター会員に対して、CSR の必要性、活用性についてのフォーラムを開催する。また、当法人の活動報告を行い、社会起業やソーシャル・ワーカー等の支援を促進する。6月開催を予定。

第1回 6月18日（日）

第2回 7月7日（土）

(5) 未来の名刺プロジェクト

「5年先の夢を名乗って、未来の名刺を作ろう」というコンセプトのもと、すてきな夢を持つ方々にその夢を投稿してもらおう。投稿された未来の名刺の中からも、夢 AWARD でのプレゼンターを選考し、多くの社会の課題を解決することができる夢や挑戦を応援する活動を行う。

支援・能力開発事業（公益事業 2） セミナー事業

① ソーシャルマネジメントカレッジ

■単発講座

定員：100名（受講+1回みんなの夢AWARD参加 修了式）
対象：社会人（新入社員～3年目の中小企業 ※法人サポーター）
受講料：5000円（夢手帳付）
講義：1回目6月、2回目12月
内容：夢7原則、価値感(ミッション) 夢手帳のつけかた
講師：講師 中川直洋（業務執行理事）、渡邊代表（ビデオメッセージ）
テキスト：「夢に日付を！」 夢手帳提供

■集中講座 みんなの夢 AWARD エントリー者向けセミナー

定員：15名
期間：8月から9月 サマースクール（1日）
対象：みんなの夢 AWARD エントリー者
受講料：30,000円（夢手帳付）
内容：みんなの夢 AWARD 選考に重要な、社会性、共感、計画性を学ぶ。
講師：中川直洋（業務執行理事）他、ゲスト（過去のみんなの夢 AWARD ファイナリスト）
テキスト：「夢に日付を」、各講師の著書、ユヌス・ソーシャルビジネス、夢手帳

■集中講座 中小企業向け CSV セミナー

定員：20名
期間：12月、1月、2月
受講料 50,000円
中小経営者向けに、本業を通じ社会課題を解決する「在り方」や「方法」について伝授。
豪華な講師陣（当団体の理事、評議員、ネットワーク）による、本業で事業を実践する経営者や専門家の個別講座とワークショップを行い、社会貢献型新規事業（ソーシャルビジネス）の提案を発表する。

■集中講座 地域おこし協力隊向けセミナー

定員：20名
期間：2月
受講料 10,000円
地域おこし協力隊向けに、地域起業家に向け、事業として成功する秘訣を伝授。
講師：中川直洋（業務執行理事）、地域起業家（みんなの夢 AWARD ファイナリスト）
内容：みんなの夢 AWARD を通じて起業したみんなの夢 AWARD ファイナリストをゲストに迎え実施します。

■地方自治体（地域おこし協力隊向け出張講座）

地域で儲ける仕組みを構築する「商学」 商売・経営の原理原則であるミッション、ビジョン、戦略を学びます。
対象：地域おこし協力隊など、その地域で商売、事業を考えている方など
受講料：30000円～+交通費

■企業向け出張講座

～社員の夢を仕事に 企業研修講座について
ソーシャルマネジメントカレッジ（SMC）企業研修講座は、夢ややりたいことが見つからない社員の方にとってはそれを見つけるための時間に、夢ややりたいことがぼんやりとあるけれど事業化できない方にとっては、夢を事業計画に落とし込める時間になるかと思えます。社員様がご自身のやりたいことやキャリアビジョンを社内の新規事業として実現できるようになれば、会社が内側からより良き企業に変わっていきます。夢を夢で終わらせず、果敢に挑戦する社員を育てることが、企業の更なる飛躍につながっていくと私たちは考えています。

企業も CSR(企業の社会的責任を通じての活動)から CSV(社会課題を本業で解決する)の時代へ、マーケティングも 1.0(製品中心主義)、2.0(消費者志向)、3.0(価値主導)を通じ、現在は 4.0(自己実現)へ移行したと言われてしています。社員がご自身の夢から少しでも社会の夢を意識した時、仕事を通じて自己実現に向けて取り組んで頂けるのではないのでしょうか。

「夢を仕事にする」をテーマとした SMC 講義は、新規事業のきっかけや、社員のモチベーションアップのきっかけ作りに過ぎませんが、講義の中で出た社員の皆様からの新規事業案を、社内であらためてブラッシュアップしていただき、一つでも多くの社員の皆様の夢が形になっていくことを願っています。

社員の夢と自社の夢を重ね新規事業を提案

- ・新規事業が社員の成し遂げたい夢やキャリアビジョンとつながっていること
- ・会社ではなく「社員が主役」となってワクワク進められる事業であること
- ・社会課題をビジネスで解決し、社会に貢献する事業であること

社員の皆様のモチベーションを上げ、自らが企画した新規事業をイキイキと実行していける社員になるための講義を貴社に出張して開講致します。

受講料 50000 円～

■個別指導

定員：随時

期間：年間

受講料：100,000 円～

②渡邊美樹経営塾の開催

内容：事業成功の秘訣「ミッション」「ビジョン」「戦略」を学び、受講者の事業計画、中期経営計画を一緒に策定していきます。

講師 渡邊美樹(代表理事)

コーディネート 中川直洋(業務執行理事)

年間 3 期を実施する。1 回目は、「経営理念、ミッション・ビジョン」の学び、2 回目は、戦略～マーケティングを学ぶ。3 回目は、中期計画、事業計画を策定する。4 回目は、各受講生による事業計画を発表していきます。なお、事業承継・CSV 経営を勧めていきます。

1 期生 5 月～8 月、2 期生 8 月～11 月、3 期生 12 月～3 月

各 30 名

③ 大学など教育機関にて講義

法政大学経営学研究所にて、企業家養成特殊研究

講師 中川直洋(業務執行理事)

授業計画 秋学期(9 月から 2 月)

全 14 回

④みんなの夢セミナー 20 回

■学生向けセミナー形式

定員：1 回あたり(5 名～50 名)

期間：毎回実施

対象：学生団体、サークル、その他の団体との連携

受講料：無料

内容：夢を仕事にするはじめての一步、夢に日付を！テキスト：「夢に日付を(簡易版)」、未来の名刺

テキスト募集：みんなの夢 AWARD 学生事務局等からの紹介

未来の名刺登録者、学生などを対象に、仕事(就労)を通じて夢を実現する為の専門知識を習得するためのセミナーを開催する。セミナー講師は、その専門分野で活躍している方を予定し、開催は、2018 年 4 月～2019 年 3 月に予定です。

⑤未来の名刺講座

主に非営利団体や教育機関と連携し、小学生向けに、無料で未来の名刺出張講座を行う。小学生の夢＝将来したい職業を聞いて、未来の名刺に、自分の職業、役職を書いてもらう。その為には、中学、高校で何を学ぶ必要があるかを計画することが重要であることを知ってもらう。

4. その他

1. 会費について

これからの社会、これからの若者育成の為の支援活動、並びに社会の夢を応援する支援活動を公益財団法人サポーターとして支えていただく。

当法人の活動の主旨に賛同していただいた方に、みんなの夢をかなえる会のサポーター（会員）、みんなの夢AWARDサポーター企業になっていただき、下記の区分により会費を頂く。

■一般サポーターについて

- みんなの夢AWARD9のペア席
- ソーシャルマネジメントカレッジ一般向け参加
- 未来の名刺提供
- みんなの夢サポーターマガジンの発行
- 会費（年額）：一口 6,000 円

■法人サポーターについて

- みんなの夢AWARD9のVIPペア席 みんなの夢AWARD9の一般席5名まで招待
- みんなの夢AWARD9交流会招待
- ソーシャルマネジメントカレッジ（5名参加）
- 会費（年額）：一口 120,000 円

■みんなの夢AWARDサポーター企業について

- みんなの夢AWARD9のVIPペア
- みんなの夢AWARD9（200名～10名）
- サポート支援表明参加
- みんなの夢AWARD9交流会参加
- 会費 1コース（300万円）、2コース（100万円）、3コース55万円）

■法人サポーター社員会員

- みんなの夢AWARD9の参加
- 会費（年額）：一口 1,800 円

■募集体制

募集方法は、人的ネットワーク、公式HPなどを通じて法人・個人寄附、会員の募集を行う。

以上